

<b>授業科目名</b> <英訳>		交絡調整の方法 Intermediate Biostatistics			<b>担当者所属・ 職名・氏名</b>		医学研究科 准教授 寒水 孝司 医学研究科 教授 佐藤 俊哉 厚生労働省 森 和彦				
<b>配当 学年</b>	専門職	<b>単位数</b>	2	<b>開講年度・ 開講期</b>	2015・ 後期	<b>曜時限</b>	火2	<b>授業 形態</b>	講義	<b>使用 言語</b>	日本語
<b>[授業の概要・目的]</b>											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交絡前期コア科目である「医療統計学」で学んだ医療統計学の考え方を実践するための、具体的な統計的方法について講義します。</li> <li>・疫学研究などの観察研究によって因果関係を調べる際、妨げとなる「交絡」を調整する方法として、層別解析、回帰モデル、生存時間解析などのデータ解析の方法を説明するとともに、データ解析を実施する上で必要となる「解析計画」、解析計画を立てる上で必須の「研究計画」についての留意点をとり上げます。</li> <li>・「医療統計学」よりもやや専門的な内容が増えますが、具体例を示しながら基本的な考え方を中心に講義します。</li> <li>・履修条件に注意してください。</li> </ul> <p>【パワーポイントスライドによる講義形式】</p>											
<b>[到達目標]</b>											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交絡について理解し、それを正しく説明できる</li> <li>・交絡調整における層別解析と回帰モデルの意義を理解する</li> <li>・層別解析と回帰モデルの利点・欠点を説明できる</li> <li>・研究計画書、解析計画書の重要性を説明できる</li> </ul>											
<b>[授業計画と内容]</b>											
第1回 10月6日 交絡の復習と標準化 第2回 10月13日 共通効果の推定 第3回 10月20日 平均値の比較 第4回 10月27日 サンプルサイズ設計, 第1回ミニテスト 第5回 11月10日 回帰モデル入門 第6回 11月17日 ロジスティック回帰 第7回 11月24日 生存時間解析1 第8回 12月1日 生存時間解析2 第9回 12月8日 欠測データの対処, 第2回ミニテスト 第10回 12月15日 医薬品の審査と市販後安全対策 第11回 12月22日 研究計画書の作成 第12回 1月5日 解析計画書の実際 第13回 1月12日 変数選択 第14回 1月19日 傾向スコアの利用, 第3回ミニテスト 第15回 1月26日 解析計画書作成 発表会 (ディスカッション)											
----- 交絡調整の方法(2)へ続く ↓↓↓ -----											

## 交絡調整の方法(2)

### [履修要件]

MPH選択・MCR推奨選択

前期コア科目「医療統計学」を履修済みであること

### [成績評価の方法・観点及び達成度]

3回のミニテスト

### [教科書]

『医療統計学 配布資料』

### [参考書等]

#### (参考書)

Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. 『Modern Epidemiology, 3rd ed.』 (Lippincott Williams & Wilkins, 2008.)

### [授業外学習（予習・復習）等]

前期コア科目「医療統計学」

### (その他（オフィスアワー等）)

人間健康科学系専攻学生の受講可否：可

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。